

デザイナー 佐藤 卓氏の想い

CERAMIC
VALLEY
Mino
Japan

入口
地域
環境
地球
歴史
文化
想い
etc

作家
窯元
タイルメーカー
商社
事業者
飲食店
メディア
etc

セラミックバレーのロゴの右下にある赤い形は、大きな円の一部分です。その目に見えない大きい円が、地域、環境、地球、そこに暮らす人たちの想いなどさまざまなモノやコトを意味しています。

「大切なものは目に見えない」

(サン・テグジュペリ『星の王子さま』)

セラミックバレーシンポジウム

今回の広域だよりでは、令和2年12月19日(土)に開催した「セラミックバレーシンポジウム～多様性の統合により、世界に類を見ない地域を創造する～」について特集します。新型コロナウイルス感染症対策として定員の制限や検温などを行い、多治見市、瑞浪市、土岐市、可児市の業界界はもとより美濃焼関係者の方が多く参加しました。シンボルマークをデザインしたクリエイティブディレクター佐藤卓さんをお招きし、オブザーバーに多治見市長、瑞浪市長、土岐市長、可児市長が出席しました。

※4市長の想いは5ページ佐藤卓さんとの対談をご覧ください

第1部 セラミックバレー美濃構想と進め方

プレゼンター 株式会社 井澤コーポレーション
代表取締役社長 井澤秀哉 氏

セラミックバレー美濃構想とは、美濃のやきものとその文化をリブランディングし、産地と地域を活性化する取り組みです。

4市には、美濃のやきものとその文化を広めようと、それぞれの立場で頑張っている人がたくさんいます。その一人一人、拠点拠点をこれまでの業界団体の垣根を越えて線で結び、面とさせ、やがては強固な一枚岩となって団結する姿を目指しながら、美濃のやきものとその文化を、物販・観光の両面からこれまでにない視点でリブランディングしていきたいと思えます。

それを実現できる有形・無形の財産が存在すると確信しています。

4市に暮らすすべての人々たちによる民間ボトムアップ型・民間主導の同志的結合を目指し、行政には側面サポートを期待しています。

基本理念を念頭に「世界は美濃に憧れる。」を国内外へと発信し続けていくことこそが、「セラミックバレー構想」に他なりません。

やきものを愛する人たちが、世界中からこの地に集い、また我々の子どもや孫たちが自ら進んでこの地に根差し、仕事をする価値と喜びを見出してもらえるようになれば、人口減少や事業継承の問題も自然と解決できると信じています。

第2部 パネルディスカッション

林 セラミックバレー構想を改めて理解し、地域全体へのさらなる盛り上げのきっかけとなるよう、改めて何をしようとしているのか、誰のためのものなのかをお話いただけます。

井澤 この地域に愛情をもって活動された方は数多くいます。その人たちの思いに目を向けて、未来に何ができるか考えていくことが大切です。情報やイベントに関わっている人たちが円卓会議として目と目を合わせて話をするすることで、4市の連携が早いスピードでできると思えます。

コーディネーター



林企画
代表 林 弘之 氏

パネリスト



株式会社 井澤コーポレーション
代表取締役社長 井澤秀哉 氏



株式会社 エクシズ
代表取締役 笠井政志 氏



カネ定製陶 株式会社
専務取締役 籠橋亮介 氏



市原製陶 株式会社
代表取締役 金津 誉 氏